

平成30(2018)年11月1日

11月号

明石市立二見北小学校

学校だより 第439号

「秋の霧きり」と「春の霞かすみ」 校長 赤松 弘一



5年生は南但馬自然学校へ行きました。朝霧の上に浮かんだ竹田城跡はまさに天空の城でした。朝来山登山では、明石では見ることでない素晴らしい雲海を見ることができました。霧も雲も、その正体は空気中に漂う水滴で全く同じものです。霧も遠くから見れば雲になり、雲の中に入れば霧になります。日本には霧(きり)、霞(かすみ)、靄(もや)などの言葉がありますが、すべて空気中に漂う水滴をあらわす言葉です。この水滴が地面に着けば露(つゆ)、地表に近い所で漂うと霧、地表から高く離れば雲と呼ばれます。特に春に現れる霧を霞と呼びます。同じものが時季や場所、状況によって別のものとして表現されるのです。日本人の自然に対する感性の豊かさをあらわしていると思います。

6年生は修学旅行で広島市の平和公園、平和資料館を訪れました。広島だけではなく日本中、さらにはアジアの様々な地域で数百万人の命を奪うことになる悲惨な結末がわかっていたら、このような戦争を起こしたでしょうか。後になって悔いても失われた命や人生などは帰ってきません。ひとつの国が正義だと主張し、行ったことが、周囲の国にとっては身勝手、許しがたい行為だったというように、事実のひとつであっても見方によって変わります。

おら雨の露もまだ干ぬ真木の葉に
 霧立ち上る秋の夕暮れ
 ほのぼのと春そ空ににけらし
 天香久山霞たなびく
 後鳥羽院
 寂蓮法師

私たちに未来は見通せません。だからこそ、歩んできた歴史の中から学んで、過ちを繰り返さないようにすることが大切なのです。戦争は、遠い国の話でも過ぎ去った昔の話でもありません。「他人より少しでもいいものが欲しい、自分だけが豊かになりたい」そんな思いが争いにつながり、果てしない戦争に発展してしまうのです。そしてそれはごく近い将来の、身近な所での話かもしれません。

私たちの身の回りには様々な物だけでなく、様々な人や社会、国があります。それをどのように感じて評価するかは、見る角度やその時の状況、また自分の心のあり方や、経験の差などによって、人によって大きく異なります。自分の見方や評価は正しいと誰もが思いがちですが、それは本当なのでしょうか。霧と雲の違い、戦争の加害者と被害者という立場など、身の回りの多くのことは、ひとつの角度から見ていたのでは見誤ることになります。他者を思いやり、自分を謙虚に振り返る柔軟な心があれば、同じものをより正確に見極めることができます。自然に対する豊かな感性と同じく、他者に対して偏見のない、正直で優しい眼差しを持つ日本人でありたいです。

日	曜	
1	木	6年きらきらの会 就学時健康診断 (1・2年 12時50分下校)
2	金	
3	土	文化の日 二見町合同文化祭
5	月	
6	火	児童鑑賞会準備のため関係児童15:30下校 (1~4年と係のない5年 14:20下校)
7	水	児童鑑賞会 Fタイム (サークル)
8	木	4年きらきらの会
9	金	音楽会準備のため関係児童15:30下校 (1~4年と係のない5年 14:20下校)
10	土	音楽会 (1~5年 12:30下校、片づけのため6年 13:00下校)
12	月	音楽会代休
13	火	代表委員会
14	水	朝会 月曜時間割 (3年生以上6校時あり) 4年手話体験
15	木	3年市内連合音楽会 子ども安全の日
16	金	
19	月	北っ子スペシャルメニュー (給食)
20	火	
21	水	Fタイム (クラブ) 市内特別支援学級合同野外活動
22	木	3年きらきらの会 ↓
23	金	勤労感謝の日 北っ子フェスタ
26	月	教育相談日
27	火	二見中校区特別支援学級高学年交流会 スクールカウンセラー来校
28	水	2年生以上6校時あり
29	木	2年きらきらの会 6年狂言鑑賞
30	金	
12月の主な行事予定		
5日:朝会 Fタイム (サークル) 10日:代表委員会 15日:子ども安全の日 17・18日:個人懇談会		
19日:給食最終日 学期末大掃除 21日:終業式		

☆10月8日 子ども会陸上競技大会☆

練習を積み重ね、大会本番では、一人ひとりが最後まで自分の競技をしっかりと頑張ることができました。そして、3人が優勝という成績を残すことができました！

優勝 5年女子 80メートルハードル

優勝 6年女子 走り高跳び

優勝 6年男子 100メートル走



【児童の登下校の荷物の軽減について】

9月10日にお知らせしましたが、上記の件につきまして、学校に置いておくものと、持ち帰って学習に使うものを分けて、少しでも子どもの荷物を減らすように検討いたしました。以前からこの件につきましては、各学年の状況(時間割や、教室ロッカーの容積など)に応じて、決めておりますが、各学年便りを通じまして改めてお知らせいたします。ご協力よろしくお願いいたします。

10月12日～10月13日 6年生 修学旅行



『おかわり』 ぼくは、広島に修学旅行に行きました。そのときとてもうれしいことがありました。それは、旅館の晩と朝のご飯がとてもおいしくて、どちらも七回おかわりをしたことです。とてもおいしかったので、また行きたいと思いました。旅館の方々に感謝です。そして、原爆ドームを見たり、被爆者の方のお話を聞いたりして、たくさん学びました。とてもいい修学旅行でした。(6-1)

『修学旅行に行って』 私は、平和学習で戦争の怖さやその当時の人々の気持ちを知り、今、自分にできる事を見つけることができました。原爆ドームを見たときには、「亡くなっていった人たちは、何で死ななければならなかったの？ 苦しい思いをしなければならなかったの？」と思いました。広島で教えてもらったこと、体験したことなどを、しっかりと5年生に伝えられるようにしたいです。(6-2)

『平和への学び 修学旅行にて』 私は、広島に行って、平和の大切さや戦争のおそろしさ、悲しさ、そして命の大切さ、生きていることのすばらしさを知ることができました。8月6日の広島の人々は、とても苦しくて自分の家族の所へ帰りたいことが平和資料館でよくわかりました。だから、私が伝えていけないといけないと強く思いました。それに、平和な世界をつくっていくために、いろんな人と仲良く助け合ったり、地球環境を守ったり、私にできることを進んでしようと思いました。(6-3)



10月26日 1年生 校外学習

須磨水族園へ♪

水ぞくえんにいったとき、エイのからだの下にかおがあるようだったから、とてもおもしろかったです。たこは、こくごのほんにのっていたとおり、まわりのいろとおなじいようになっていたからびっくりしました。(1-1)

1ばんたのしかったことは、イルカショーです。イルカが、たかいところにあるボールをけったり、くるくるまわったりしていました。プレゼントをはこぶイルカは、とてもかわいかったです。

(1-2)



ぼくは、きんようびに、すますいぞくえんへいってきました。大きなすいそうにたくさんのさかながいて、サメがかつこよかったです。カメは大きくてもちよさそうにおよいでいました。またいきたいです。

(1-3)

ペンギンが水のなかをおよいでいるとき、かべにぶつかったから、びっくりしました。アマゾンかんには、大きなへびがいました。へびのながいからだがかからまわって、おもしろかったです。またいきたいです。(1-4)

10月22日～10月26日 5年生 自然学校

南但馬自然学校へ♪



私は、この自然学校で一番心に残ったのは、キャンプファイヤーです。なぜ、キャンプファイヤーが一番心に残ったかというと、リーダーさんのおもしろい話やクラスごとのスタンツなど、火の周りでいろいろなことをしたのがとても楽しかったからです。他にも、ナイトハイクやオリエンテーリングなども友達と協力しながら活動できたのでよかったです。私は、自然学校でみんなに支えてもらいました。次は、わたしが学校生活でみんなを支えられるようにがんばりたいです。

(5-1)

ぼくは、自然学校に行く前は不安と期待でいっぱいでした。バスに乗りこみ、見送りに来てくれた母の顔を見ると少しさびしくなりました。でも、南但馬に着くとその不安もなくなり、毎日が充実した日々を送ることができました。南但馬は自然がいっぱいで、色々なきのこや植物がありました。一番思い出に残ったのは、キャンプファイヤーのスタンツで、みんなの心が一つになりました。最高の思い出ができた自然学校でした。(5-2)

ぼくが一番心に残ったのはカウンスルタイムです。ぼくは班長として自分だけではできなかったことが、たくさんあったので、班のみんなに感謝したいなと思いました。ぼくは班のみんなや3組のみんなの意見を聞いて、泣きそうになりました。自然学校の五日間を過ごせたのは、班のみんなや三組のみんながいたからこそだと思います。だから、これからもみんなと協力して頑張りたいと思います。

(5-3)



9月27日 2年生 町たんけん

2年生が町たんけんして私たちの町にある施設やお店に行きました。交番や郵便局、常德寺、コミセン、西松屋、オニシオートイズム、KuRi、川久保などに行って子どもたちがインタビューさせていただきました。私たちの町にあるお店や施設について詳しく知ることができ、とても良い機会となりました。

